

【事例紹介】

大分県における留学生のキャリアサポートについて

－おおいた留学生ビジネスセンターの取り組み－

Career Support for International student in Oita pref.:
Description of Oita International Students Business Center

特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいた

事務局長代理 太神 みどり

OGA Midori

(Acting secretary-general, NPO University Consortium Oita)

キーワード：就職支援、起業支援、おおいた留学生ビジネスセンター

はじめに

大分県は、2019年4月現在で3,600人を超える外国人留学生が居住し、人口比率では全国2位、その出身国・地域は90か国にわたり、地方都市にあってはかなり特色のある県となっている。立命館アジア太平洋大学の存在が大きいですが、県内のほかの大学に在籍する留学生も決して少なくはなく、4年制大学に在籍する留学生数が多いすなわち卒業後の高度人材としてのキャリアサポートがますます必要となってきた。

大分県では2016年、留学生の「就職」と「起業」をサポートする「おおいた留学生ビジネスセンター」を設置しており、その取り組みをご紹介します。

（1）留学生支援の全般を行う大学コンソーシアムおおいたについて

大分県では、ほぼ全ての大学・短大・高専・留学生の在籍する専門学校が加盟する「大学コンソーシアムおおいた」（NPO法人）（URL：<http://www.ucon-oita.jp/>）があり、大学関係のみならず商工会議所等の経済団体や民間企業等も加盟して、産官学で留学生の支援、能力の活用に取り組んでいる。大分県、大分市、別府市といった行政が「大学コンソーシアムおおいた」に事業を委託し、留学生と地域の交流促進や、国際的人材育成事業を図るプログラムも多く、留学生の大分県内における「入口」から「出口」までの各種サポート事業を実施中である。

サイト内に留学生に参加してもらいたい様々なプログラムを掲載し、登録している留学生がエントリーしてマッチングできる人材マッチングシステム「おおいた留学生人材情報バンク（通称：ACTIVE-NET）」（URL：<https://activenet.ucon-oita.jp/>）を擁し、以降に述べる各種事業もこのシステムで留学生の募集・選考等を行うことができる。

（２）大分県内の留学生の卒業後の進路

各大学や大学コンソーシアムおおいたにおいて、留学生と地域との交流を促進し、国際理解を促し、通訳や翻訳、マーケティング調査等ビジネス分野も教育分野へも、留学生が活躍できるアルバイトやインターンシップに取り組んできていると、「このままここで就職したい」という声も多く聞こえるようになった。また、海外への販路拡大を視野にいれはじめた中小企業や、インバウンド業界等からの外国人従業員雇用希望も増え始め、出口支援の必要性は年々高まってきた。

大学コンソーシアムおおいたが2018年に県内留学生に対し行ったアンケート調査では、卒業後の進路を尋ねたところ、「日本国内で就職したい」が59%、次いで「母国以外か、日本以外で進学または就職したい」が16%、「母国に帰って進学または就職したい」が9%、「その他、諸外国で就職、や好きな仕事（がでいる場所へ行く）など」が7%、「日本国内でさらに進学したい」が5%、「起業したい」が4%（そのうち60%は日本で起業したいと回答）となった。この卒業後に日本で就職したいという約6割という数値は、大まかではあるがここ数年、大分県の留学生でも、九州圏内調査でも、全国的な調査でもよく出てくる割合である。

2018年度（2018年秋卒と2019年春卒）の大分県内の卒業留学生数は896人（主要6校）。このうち、日本国内に就職した留学生は317人であるので、約35%となり、上記のアンケートのように約60%が希望していたとすればあと半数近くはもしかしたら就職できなかったのかもしれない。さらに日本国内で就職した317人のうち、大分県内にて就職した留学生は45人であった。

最もこの調査はあくまでも大学等の就職課が把握している数値であり、就職先不明、という回答値は含まれていない。また留学生は教授の紹介やアルバイト先や先輩のついでで就職したりして、最終的な就職先を就職課に報告しないままのことも多々あるので、実際はもう少し国内就職は多いのではないかという感触だ。同様に、大分県内の就職についても入国管理局でわかるデータとして「留学生」という在留資格から「技術・人文知識・国際業務」などの就労できる在留資格へ変更した数値とも若干の食い違いがでている。しかしながらいずれにせよ、大分県ではもう少し留学生の就職が増えてもいいのではないかと、もう少し支援が必要なのではないかとして、就職支援の強化を、そしてさらには国際力豊かな若者が大分を舞台に新しいビジネスを興したり、地域活性となるコラボプロジェクトを立ち上げたりするのを期待して、起業支援にも取り組みはじめた。

(3) おおいた留学生ビジネスセンターについて

大分県は、2016 年秋、「おおいた留学生ビジネスセンター（愛称：SPARKLE）」を別府市内に開設した。（URL：https://oibc.jp/）運営は大学コンソーシアムおおいたに委託し、かねてより大学コンソーシアムおおいたで行ってきていた就職支援に加えて、起業の支援体制も整え、留学生の能力活用とキャリア支援のワンストップサービスセンターとして位置づけている。

「就職」と「企業」と「留学生能力のビジネス活用」の各種ソフト面のサービスを行うとともに「起業」のインキュベーション機能を持つ施設であることが特徴である。大学外の施設としては留学生を対象としたインキュベーション施設は日本初ではないだろうか。貸出しするインキュベーションブース等のほか、キッチンや和室、交流スペースがあり、wi-fi 設備や共同 PC、コピー機、自販機等留学生の希望をヒアリングしながら開設した施設である。

施設利用者として対象とするのは、「留学生」「留学生 OBOG」「留学生と共働起業するような日本人」「留学生の能力を活用する何等かの新プロジェクトを行う企業」など、“留学生”がキーワードとなる人・事柄である。

(4) 就職支援の例

実施している就職支援は、企業向け外国籍人材採用に関するセミナー、留学生向け就職した先輩の体験談交流会、県内企業見学会、合同企業説明会、在留資格についての無料相談会、留学生インターンシップサポート、就職ガイドブック作成、などである。

中小企業にあっては、採用活動に対し十分なパワーやお金や仕組みを用意していない事も多く、さらに外国籍人材の雇用となると情報や知識をもっていない事が多い。大分県には留学生が多いといわれながら、当ビジネスセンターでの説明会ではじめて留学生と会話をした、というような声も聴かれる。然しながら中小企業こそ優秀な人材が欲しくかつ留学生にとっては自分の能力を発揮する場が大きいといえる。

前述の 2018 年のアンケートは県内企業にも実施しており、留学生を採用するには何が課題になっているのかも伺い、その課題を一つ一つ払拭していくには、やはり留学生と企業が直接出会う場を作ることは非常に重要な支援であると分かっている。

地域性や業種に関係なく、「日本語能力はどうなのか」「コミュニケーションは」「長く働いてくれそうか」「なじめるか」などが一番多く出てくる懸念点であるが、留学生に会い、よく会話し、できれば一緒に何かの仕事やプロジェクトをしてみれば、相互理解は可能で採用の可能性もひろがってくる。

留学生も地場企業についての情報を全くと言っていいほど持っておらず、アンケート結果では「自分の能力を活かせるなら・やりたい仕事ができるなら、企業規模や地域にこだわらない」と回答しているにもかかわらず、企業、留学生双方とも雇用のチャンスを逃している可能性が高い。

当ビジネスセンターでは、なるべく在学中から、通訳や翻訳、マーケティング等ちょっとしたビジネスアルバイトや有償インターンシップを行い、留学生の能力を知ってもらう交流をするよう推奨している。インバウンドモニターや海外展開、新しい商品開発において、留学生から意見をもらいたいという希望が増えており、当ビジネスセンターおよび留学生人材情報バンク（ACTIVE-NET）を利用して「意見交換会」をコーディネートして差し上げる事例も多々ある。

また留学生の就職には、在留資格の理解と手続きも不可欠であるが、当ビジネスセンターでは顧問の行政書士に相談できるよう体制を整えており、昨今変化の多い法改正も常にスタッフが勉強するように心がけている。

（5）起業支援の例

当ビジネスセンターのインキュベーション施設は、個室2つ、ブース席を10席用意しており、当施設で会社登記ができるようにしている。スタートアップのサポートを目的としているため、最大3年間の利用となる。もちろん起業準備中や起業しないプロジェクトでの利用も可能。ブース席は月5,000円で貸しており、さらに現役留学生なら当初の1年間は月2,000円という料金設定である。（個室は1年目15,000円/月、2年目25,000円/月、3年目35,000円/月）

常駐スタッフはJBIA認定のインキュベーションマネージャーが居り、起業の相談、手続き、起業後の相談にのる。行政書士の在留資格相談も利用できる。

起業して県内外にいる先輩を講師としたセミナーや、県内の社長との意見交換会、財務や販路拡大などの実務的な講座、各種のビジネスピッチやコンテスト出場のためのブラッシュアップなどが実施している起業支援である。

大分県では、県主催で「おおいた留学生スタートアップ支援プログラム（起業アイデアをもつ留学生のエントリーから10チームに選抜してメンタリング、最後に県内外の投資家等を前にピッチを行う）」もあり、ほかビジネスコンテストや地域アイデアソン等、そして各種金融機関や創業支援機関とかなり密に連携して様々に留学生起業を後押ししている。大学内での起業塾やゼミも活発化してきた。

また、「経営・管理」の在留資格要件の緩和も追い風となってきている。大分県では、「500万円の投資または従業員を2人以上雇用する」という新卒学生には厳しい要件の緩和について国と協議してきた結果、2018年1月法改正となり、公的な創業支援施設での入居やサポートを受けることなどを条件に金額要件が300万円まで緩和された。当ビジネスセンターでは、入居した外国人の（いずれも県内留学生0B）「経営・管理」在留資格変更に対し、2018年に1件、2019年度は上記緩和後の300万円で起業・在留資格変更をした第1号者を含め2件サポートしている。

起業は留学生には高い壁であるが、社会的課題を解決するものや、地域貢献性がかなり高い起業の相談も多く、彼らの熱い想いに答えるべくきめ細かいサポートをしつつ、定着に向けた地域整備や法

的整備などをより一層各機関と連携しながら検討していく必要があるように思う。

(6) まとめ

おおいた留学生ビジネスセンターが設立され、3年が過ぎたが、口コミによるセンター紹介が多く、留学生がちょっとした相談でも来所したり、メッセージを送信してくる「場」というのはやはり必要であるのだと感じている。外国人材を活用・雇用したい企業にとっても、大学への求人情報以外に交流の方法がわからなかった状態から、外国人材がもたらす可能性について様々な相談を寄せる場があることは、今後の大分の経済発展に寄与できるのではないかと考える。

留学生からの相談は、「就職」かと思っていけば「起業」の話になり、フォローしていただいたの間に「大学院に進学することにした」となったりもし、多くの可能性と視野をもつ留学生にとっては、就職か起業かの二者択一ではなく、当ビジネスセンターが大きく「出口支援」ととらえることが良い方針ではないかと後から気が付いた次第である。

また、例えば就職の相談においては個々によって就活の方法の習得度が全く違い、就職する意味合い（重さ）も全く違う。起業の相談においては、夢物語のようなアイデア話から実際の事業計画書作りや法的な書類作りまであり、そして重要な資金や起業の熱意について、個人のバックボーンは全く違う。こういった多岐多様性に対応していかなければ、居心地の悪さを即察知する若者にはすぐに「使えない」と判断されてしまうと思われ、当スタッフは出来るだけ柔軟な対応を心がけている。

最近では、県外にいる留学生 OBOG、果ては海外にいる大分県内大学卒業生からも起業相談がある。卒業生がリターン転職、起業する事例も出てきており、新卒への出口支援のみならず、卒業生の対応も今後さらに増えるであろうと予想される。ただしそれは、当ビジネスセンターという「問い合わせ先・相談先」があるからというものではなく、「大分県」や「別府市」という、かつて自分が住みやすく過ごして、よく知っている地域、いつか再訪したい・戻りたい地域での転職や起業として求められているのであり、魅力ある地域として認知されるよう、選ばれる地域となるよう、在学中の留学生に対する地域交流や地域活動へも引き続き尽力せねばならないと考えている。いつでも相談できるサービス拠点としては、一過性のものではなく継続して運営をし続けることも重要であろう。

当センターは「留学生」をキーワードにしているものの、誰もが住みたい場所に住み、やりたい仕事に就く、という基本的な事の当たり前のサポートであるともいえる。目の前の留学生をサポートしているつもりではあるが、これにより地域が住みやすく働きやすく魅力的になれば、ほか住民も然り、人や物やお金が集まる活力ある地域づくりの仕組みの一つかもしれないと感じている。以上



- ・大学コンソーシアムおおいたの HP

<http://www.ucon-oita.jp/>



- ・おおいた留学生人材情報バンク「ACTIVE-NET」サイト

<https://activenet.ucon-oita.jp/>



- ・おおいた留学生ビジネスセンター (SPARKLE)

<https://oibc.jp/>



- ・おおいた留学生就職ガイドブック 2019

<http://www.ucon-oita.jp/service/report>

(活用事例、会社概要、アンケート調査結果を掲載。

HP からダウンロードできます)



- ・留学生のための起業ブック

<http://www.ucon-oita.jp/service/report>

(左右のページで日英対訳となるよう作成しました。

HP からダウンロードできます)